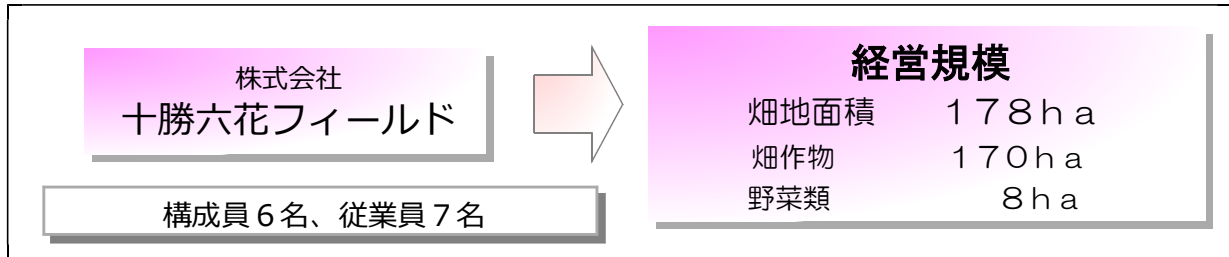


「地域の持続的発展を目指した農業経営の確立」

～10年後も笑顔あふれる大森に！！～

十勝農業改良普及センター十勝東部支所 地域第一係

1 活動対象および概要



2 背景・ねらい

課題の背景

- ・(株)十勝六花フィールドは令和3年に、池田町で初めての協業法人として誕生した。令和4年のアンケート調査から、構成員はほ場や作業状況の共有、労働環境（休暇取得）改善を希望していることがわかった
- ・新規作物として、飼料用とうもろこしを栽培することになった

活動のねらい

- (1)構成員相互の情報共有化
- (2)休暇が取りやすくなる労働環境の整備
- (3)飼料用とうもろこしの安定栽培技術の定着

3 活動の経過

(1) ほ場情報および作業の共有化

- ・実際に他地区で活用されている営農支援アプリを紹介し、導入された（図1）。
- ・ほ場台帳と作業項目の設定を行い、構成員全員が活用できるよう使用方法を説明した。
- ・各自のほ場の特徴（生育不良部分等）の情報共有を図った。



図1 ほ場マップと作業記録

各ほ場・作業者ごとに作業を記録できる

(2) 労働環境整備

- ・構成員から希望が多かった休暇の取り方について、改善方法を協議した。

(3) 飼料用とうもろこしの安定栽培

- ・定期的な栽培支援を行った。
- ・令和4年度から栽培している農業者3戸の実態調査を行った。
- ・飼料用とうもろこしの土壌物理性改善効果を確認するため、令和4年度から栽培している農業者1戸のほ場で土壌断面調査、根張り調査を行った(写真1)。



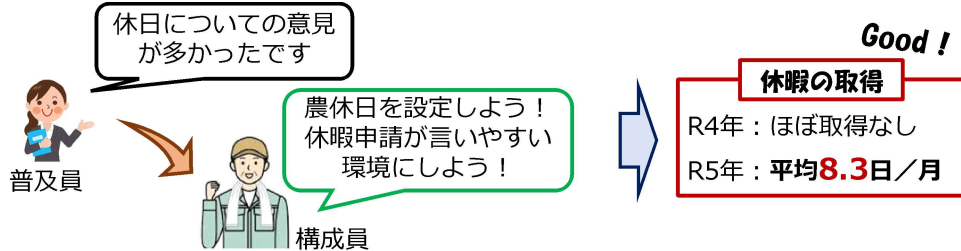
写真1 土壌断面調査

4 活動の成果

(1) ほ場情報および作業の共有化



(2) 労働環境整備（休暇の設定）



(3) 飼料用とうもろこしの安定栽培

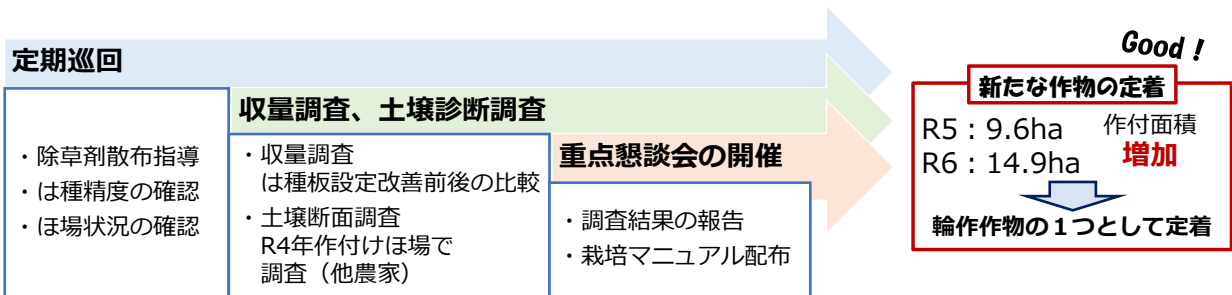
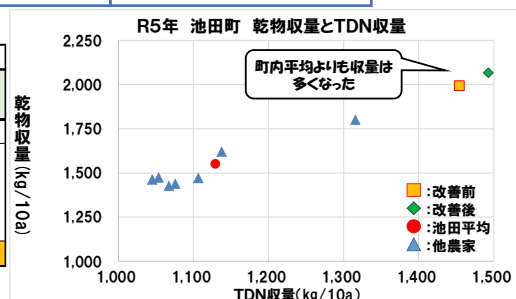


表1 土壌断面調査結果

小麦後の大豆ほ場			飼料用とうもろこし後の大豆ほ場				
深さ (cm)	土性	硬度	根の量 (目視)	深さ (cm)	土性	硬度	根の量 (目視)
0~20	SL	11.0	多	0~20	CL	22.2	多
21~40	SL	21.4	多	21~80	CL	21.4	多
41~45	LS	23.2	多				
46~70	S	19.5	少				
71~85	SL	15.8	極少	81~100	SICL	18.0	中
86~100	LS	15.6	無				



(4) 農業者の反応



- ・皆で良くしようと気持ちが変わってきている
- ・普及センターに間に入ってもらったのは良かった
- ・暑い時は勤務時間を変則的にも良いかも
- ・作業方法のマニュアルも欲しいね

5 今後の対応

- ・適期作業に向けた計画の作成、除草体系の確立、在庫管理等について農業者とともに取り組む。
- ・飼料用とうもろこしは、他の未受託農家に対してマニュアルを基にした栽培方法について波及を行い、既存農家については個別対応とする。